

教 科 用 図 書 採 択 参 考 資 料 綴 り

教 科 名 保 健 体 育

# 調 査 研 究 報 告 書

(小委員会名：保健体育)

1. 調 査 研 究 の 経 過 及 び 内 容	<p>第1回小委員会（6月19日） 釧路教育研究センターにおいて、保健体育小委員会委員長を選出し、調査研究の方法、記述要領、研究の観点について確認した。 調査研究にあたっては、学習指導要領の目標や内容、地域の実態等を踏まえ、北海道教育委員会発行の「採択参考資料」、文部科学省発行の「教科書編集趣意書」等の資料を参考にして進め、それぞれ4者について検討して資料を各自で作成し、7月10日までに会長へメール送信することとした。</p> <p>第2回小委員会（7月14日） 会長は各委員から寄せられた参考資料をまとめ、事前に各委員へ資料（案）を送付し、加筆や削除、文言等の整理を依頼しておいたことから、本小委員会では、感想交流、加筆、削除等の修正部分についてのみ協議を行った。</p> <p>協議内容を踏まえて、4者について観点別に内容等を再整理し、調査研究の結果について報告書等を作成し、会長から各委員へ送付した。</p> <p>提出 7月17日（金）</p>
2. 調 査 研 究 の 具 体 的 資 料	<ol style="list-style-type: none"><li>1 教科書編修趣意書</li><li>2 採択参考資料</li><li>3 学習指導要領解説</li></ol>
3. 少 数 意 見 等	<p>特になし。</p>

# 教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	2 東書	第1・2・3学年	保体 701	新しい保健体育
取 扱 内 容  学習指導要領の総則 及び各教科、各学年 の目標、内容等	<p>(1)学習指導要領との整合性・・・適切に取り上げられている。</p> <p>○保健分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「健康な生活と疾病の予防」については、健康の成り立ちと疾病の発生要因について調べたり、理解を深めるとともに、健康な生活と疾病の予防について課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現する。</li> <li>・「心身の機能の発達と心の健康」については、身体機能、生殖機能、精神機能の発達について調べたり理解を深めるとともに、心身の機能の発達と心の健康について課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現する。</li> <li>・「障害の防止」については、交通事故や自然災害による障害の防止、応急手当について理解を深めるとともに、障害の防止について、危険の予測や回避方法を考え、それらを表現する。</li> <li>・「健康と環境」については、身体的环境に対する適応能力、飲料水や空気の衛生的管理、廃棄物の衛生的な処理について調べたり理解を深めるとともに、健康と環境に関する情報から課題を発見し、その解決に向けて考え表現する。</li> </ul> <p>○体育分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツの多様性、意義や効果と学び方や安全な行い方、文化としてのスポーツの意義について調べたり理解を深めるとともに、自己の課題を発見し、その解決に向けて思考、判断し、他者に伝えるなどの学習を取り上げ、目標を達成できるようにしている。</li> </ul> <p>(2)育成すべき資質・能力への対応状況、主体的・対話的で深い学び、発展的な学習内容</p> <p>○保健分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症の予防の学習において、感染リスクを軽減させる方法について調べ、感染症を予防するために、「広げる」において自分たちの学校全体で取り組むべき対策について話し合うなど、自分の考えを広げたり深めたりする活動を取り入れている。</li> </ul> <p>○体育分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツの多様な楽しみ方の学習において、資料を基に多様な楽しみ方を調べたり、いろいろな人にスポーツライフについて聞いたりして、「活用する」において自分の60歳代までのスポーツライフを考える活動を取り入れている。</li> </ul>			
内容の 構成・ 分量等	<p>(1)内容の構成・排列の系統性、発展性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章のはじめに、小・中・高を通じた学習の系統性を明記し、学校間接続や長期的な学ぶ見通しを示している。</li> <li>・学習内容を学年ごとに排列し、各学年の学習内容が明確にわかるようにしている。</li> <li>・各章末に章の学習に関連した資料や今日的な課題に関する資料を掲載している。</li> </ul> <p>(2)内容の分量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1見開き1単位時間を基本とし、見通しをもって学習できるようにしている。</li> <li>・1学年の配当時間18時間(17%)、2学年19時間(18%)、3学年19時間(18%)</li> </ul>			
使用上の 配慮等	<p>(1)生徒の学習意欲を高める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学ぶ意義（何のために学ぶのか）をはじめに明確に示し（内発的動機付け）、学ぶ意欲を引き出そうとしている。</li> <li>・1単位時間の始めに「見つける」があり、関心を高める問いから学習課題につなげている。</li> </ul> <p>(2)自ら課題に取り組み、主体的に学習に取り組める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見開き2ページを1単位時間で学習することを基本に、左側に学習過程を明示していることで、課題解決のための見通しをもって学習できるように工夫されている。</li> <li>・解決場面で「考えてみましょう」、「話し合ってみましょう」「伝え合ってみましょう」「説明してみよう」など具体的な活動が示されている。</li> </ul> <p>(3)目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育の視点で構造化されており、読みやすい、見やすい、わかりやすい、見通しが持ちやすい。</li> </ul>			
その他	<p>上記に含まれない全体を通じた特色</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他教科との関連が随所に示され、教科横断的な指導ができるように配慮されている。</li> <li>・Dマークで簡単にインターネットを使った学習が可能になるよう工夫されている。</li> <li>・デジタル版の教科書に、マーカーでラインを引いたり図形を置くことができる。</li> <li>・横のサイズが21cmと今までと比べ長い。（今までは18cm）</li> </ul>			

# 教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	224 学研	第1・2・3学年	保体704	中学保健体育
取扱内容 学習指導要領の総則 及び各教科、各学年 の目標、内容等	<p>(1)学習指導要領との整合性・・・適切に取り上げられている。</p> <p>○保健分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「健康な生活と疾病の予防」については、健康の成り立ちと疾病の発生要因について調べたり、理解を深めるとともに、健康な生活と疾病の予防について課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現する。</li> <li>・「心身の機能の発達と心の健康」については、身体機能、生殖機能、精神機能の発達について調べたり理解を深めるとともに、心身の機能の発達と心の健康について課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現する。</li> <li>・「障害の防止」については、交通事故や自然災害による障害の防止、応急手当について理解を深めるとともに、障害の防止について、危険の予測や回避方法を考え、それらを表現する。</li> <li>・「健康と環境」については、身体的环境に対する適応能力、飲料水や空気の衛生的管理、廃棄物の衛生的な処理について調べたり理解を深めるとともに、健康と環境に関する情報から課題を発見し、その解決に向けて考え表現する。</li> </ul> <p>○体育分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツの多様性、意義や効果と学び方や安全な行い方、文化としてのスポーツの意義について調べたり理解を深めるとともに、自己の課題を発見し、その解決に向けて思考、判断し、他者に伝えるなどの学習を取り上げ、目標を達成できるようにしている。</li> </ul> <p>(2)育成すべき資質・能力への対応状況、主体的・対話的で深い学び、発展的な学習内容</p> <p>○保健分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活習慣と健康の学習において、1週間の自分の生活チェックを行い、よい点や改善すべき点を見つけ、他の人と比較するなど、調和のとれた生活改善に向けた活動を取り入れている。</li> </ul> <p>○体育分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの安全な行い方の学習において、自分の経験や資料を基に安全なスポーツの行い方を調べて理解を深め、まとめる・深めるにおいて、自分がスポーツを行うときの「安全チェック5項目」を作る活動を取り入れている。</li> </ul>			
内容の構成・分量等	<p>(1)内容の構成・排列の系統性、発展性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章のはじめに、小・中・高を通じた学習の系統性を明記し、学校間接続や長期的な学ぶ見通しを示している。</li> <li>・学習内容を学年ごとに排列し、各学年の学習内容が明確にわかるようにしている。</li> <li>・各章末に深い学びに結びつけられるように詳しい資料や探求的な学習活動例を掲載している。</li> </ul> <p>(2)内容の分量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1見開き1単位時間を基本とし、見通しをもって学習できるようにしている。</li> <li>・各学年に課題学習を想定した上で、1学年の配当時数19時間(18%)、2学年19時間(18%)、3学年19時間(18%)</li> </ul>			
使用上の配慮等	<p>(1)生徒の学習意欲を高める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学ぶ意義（何のために学ぶのか）をはじめに明確に示し（内発的動機付け）、学ぶ意欲を引き出そうとしている。</li> </ul> <p>(2)自ら課題に取り組み、主体的に学習に取り組める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見開き2ページを1単位時間で学習することを基本に、課題解決のための見通しをもって学習できるように工夫されている。</li> <li>・身の回りや普段の生活を手がかりとして、健康課題や学習課題に気づくことができるような工夫がされている。</li> </ul> <p>(3)目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1単位時間のはじめに「キーワード」が示され、イメージを膨らませやすい。</li> <li>・特別支援教育の視点で構造化されており、読みやすい、見やすい、わかりやすい、見通しが持ちやすい。</li> </ul>			
その他	<p>上記に含まれない全体を通じた特色</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他教科との関連が随所に示され、教科横断的な指導ができるように配慮されている。</li> <li>・キャラクターが、学習への集中を促し、深めたり、広げたりする手助けになっている。</li> <li>・章末に学びを振り返る自己評価欄を設けることで、学習を日常生活や次へ生かそうとしている。</li> <li>・デジタル版の教科書に、マーカーでラインを引いたり図形を置くことができる。</li> <li>・横のサイズが21cmと今までと比べ長い。（今までは18cm）</li> </ul>			

# 教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	4 大日本	第1・2・3学年	保体702	中学校保健体育
取 扱 内 容  学習指導要領の総則 及び各教科、各学年 の目標、内容等	<p>(1)学習指導要領との整合性・・・適切に取り上げられている。</p> <p>○保健分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「健康な生活と疾病の予防」については、健康の成り立ちと疾病の発生要因について調べたり、理解を深めるとともに、健康な生活と疾病の予防について課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現する。</li> <li>・「心身の機能の発達と心の健康」については、身体機能、生殖機能、精神機能の発達について調べたり理解を深めるとともに、心身の機能の発達と心の健康について課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現する。</li> <li>・「障害の防止」については、交通事故や自然災害による障害の防止、応急手当について理解を深めるとともに、障害の防止について、危険の予測や回避方法を考え、それらを表現する。</li> <li>・「健康と環境」については、身体環境に対する適応能力、飲料水や空気の衛生的管理、廃棄物の衛生的な処理について調べたり理解を深めるとともに、健康と環境に関する情報から課題を発見し、その解決に向けて考え表現する。</li> </ul> <p>○体育分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツの多様性、意義や効果と学び方や安全な行い方、文化としてのスポーツの意義について調べたり理解を深めるとともに、自己の課題を発見し、その解決に向けて思考、判断し、他者に伝えるなどの学習を取り上げ、目標を達成できるようにしている。</li> </ul> <p>(2)育成すべき資質・能力への対応状況、主体的・対話的で深い学び、発展的な学習内容</p> <p>○保健分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活と健康の学習において、健康な食生活への理解を深めた後、自分の食生活の実態から課題を見つけ、よりよい食生活に改善するためにどうすればよいか考える活動を取り入れている。</li> </ul> <p>○体育分野</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツが心身や社会に及ぼす効果の学習において、運動やスポーツを行うことによって起こる身体や心への効果について理解を深めた後、日常生活にどのように活かすことができるか具体的に考える活動を取り入れている。</li> </ul>			
内容の 構成 ・ 分量 等	<p>(1)内容の構成・排列の系統性、発展性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章のはじめに、小・中・高を通じた学習の系統性を明記し、学校間接続や長期的な学ぶ見通しを示している。</li> <li>・学習内容を学年ごとに排列し、各学年の学習内容が明確にわかるようにしている。</li> <li>・各章末により深い学びに結びつけられるように詳しい資料や学びを活かすための学習活動例を掲載している。</li> </ul> <p>(2)内容の分量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1見開き1単位時間を基本とし、見通しをもって学習できるようにしている。</li> <li>・1学年の配当時間18～20時間(17～19%)、2学年17～19時間(16～18%)、3学年15～18時間(14～17%)</li> </ul>			
使用上の 配慮 等	<p>(1)生徒の学習意欲を高める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1見開きの左側に文字、右側にイラストや写真資料を多く排列することで、今はどこに目を向ければよいか分かる工夫がされている。</li> </ul> <p>(2)自ら課題に取り組み、主体的に学習に取り組める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見開き2ページを1単位時間で学習することを基本に、課題解決のための見通しをもって学習できるように工夫されている。</li> <li>・「つかもう」と「活用して深めよう」が連動しており、学ぶ前と学んだ後での自己の成長がわかる工夫がされている。</li> </ul> <p>(3)目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育の視点で構造化されており、読みやすい、見やすい、わかりやすい、見通しが持ちやすい。</li> </ul>			
その他	<p>上記に含まれない全体を通じた特色</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リンクマークで他教科との関連が示され、教科横断的な指導ができるように配慮されている。</li> <li>・章末の学びを活かす活動では、学習を日常生活につなげるとともに、読解力を高める工夫がある。</li> <li>・デジタル版の教科書に、マーカーでラインを引いたり図形を置くことができる。</li> <li>・デジタルタイマーがあり、制限時間等を設ける際に役立つ。</li> </ul>			

# 教科用図書採択参考資料

番号	発行者の番号・略称	使用学年・分野	教科書の記号・番号	教科書名
観点	50 大修館	第1・2・3学年	保体703	最新中学校保健体育
取扱内容 学習指導要領の総則 及び各教科、各学年 の目標、内容等	<p>(1)学習指導要領との整合性・・・適切に取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○保健分野           <ul style="list-style-type: none"> <li>・「健康な生活と疾病の予防」については、健康の成り立ちと疾病の発生要因について調べたり、理解を深めるとともに、健康な生活と疾病の予防について課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現する。</li> <li>・「心身の機能の発達と心の健康」については、身体機能、生殖機能、精神機能の発達について調べたり理解を深めるとともに、心身の機能の発達と心の健康について課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現する。</li> <li>・「障害の防止」については、交通事故や自然災害による障害の防止、応急手当について理解を深めるとともに、障害の防止について、危険の予測や回避方法を考え、それらを表現する。</li> <li>・「健康と環境」については、身体環境に対する適応能力、飲料水や空気の衛生的管理、廃棄物の衛生的な処理について調べたり理解を深めるとともに、健康と環境に関する情報から課題を発見し、その解決に向けて考え表現する。</li> </ul> </li> <li>○体育分野           <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツの多様性、意義や効果と学び方や安全な行い方、文化としてのスポーツの意義について調べたり理解を深めるとともに、自己の課題を発見し、その解決に向けて思考、判断し、他者に伝えるなどの学習を取り上げ、目標を達成できるようにしている。</li> </ul> </li> </ul> <p>(2)育成すべき資質・能力への対応状況、主体的・対話的で深い学び、発展的な学習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○保健分野           <ul style="list-style-type: none"> <li>・けがの防止と応急手当の学習において、これまでの交通事故に関するヒヤリとした経験を想起させるとともに、中学生から高校生にかけて多く発生する事象から学びを深め、まとめでは事故の後の影響についても考える活動を取り入れている。</li> </ul> </li> <li>○体育分野           <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化としてのスポーツの学習において、口絵や写真で国を越えて、年齢や性、障害の有無を越えて、違いを越えて人々を結びつけるスポーツの価値について触れ、自分のスポーツライフについて考える活動を取り入れている。</li> </ul> </li> </ul>			
内容の構成等・ 分量	<p>(1)内容の構成・排列の系統性、発展性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・章のはじめに、小・中・高を通じた学習の系統性を明記し、学校間接続や長期的な学見通しを示している。</li> <li>・今日的な課題に対応するために、がんや感染症の予防に関する内容について、ページを多く割り、それらの疾病に対する正しい理解とともに、身近であり、ともに生きていくための術や考え方が示されている。</li> <li>・どの学年にもその単元に関連した形でスマホやSNSに関する内容が盛り込まれている。</li> </ul> <p>(2)内容の分量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1見開き1単位時間を基本とし、見通しをもって学習できるようにしている。</li> <li>・1学年の配当時間19時間(18%)、2学年19時間(18%)、3学年19時間(18%)</li> </ul>			
使用上の配慮等	<p>(1)生徒の学習意欲を高める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1単位時間のはじめに、これまでの経験や学び、気づきや思考を促す導入発問が設けられ、関心や意欲を引き出す工夫がされている。</li> </ul> <p>(2)自ら課題に取り組み、主体的に学習に取り組める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見開き2ページを1単位時間で学習することを基本に、課題解決のための見通しをもって学習できるように工夫されている。</li> <li>・学習のまとめでグループで話し合ったり、発表したりして学びを深める課題が多く設けられている。</li> </ul> <p>(3)目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育の視点で構造化されている。</li> </ul>			
その他	<p>上記に含まれない全体を通じた特色</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他教科マークや関連マークで、教科横断的な学習や保健分野と体育分野の関連が図れるよう工夫されている。</li> <li>・北海道の関係者が取り上げられていて親近感がある。</li> <li>・デジタル版の教科書が指導者用、学習者用ともに様々な工夫がされている。</li> <li>書き込みが可能で、教師と生徒の双方向のやりとりが可能、適切な動画や資料がすぐに見られる。</li> </ul>			